



平成31年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月3日

上場取引所 東

上場会社名 ウェルシアホールディングス株式会社

コード番号 3141

URL <http://www.welcia.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 秀晴

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼執行役員 (氏名) 佐藤 範正 (TEL) 03-5207-5878
最高財務責任者

四半期報告書提出予定日 平成30年10月3日 配当支払開始予定日 平成30年11月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	387,386	13.7	15,029	3.9	16,136	4.6	9,897	2.3
30年2月期第2四半期	340,665	9.5	14,462	24.2	15,432	24.2	9,678	30.5

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 9,869百万円(1.3%) 30年2月期第2四半期 9,746百万円(32.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	95.05	94.95
30年2月期第2四半期	92.97	92.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第2四半期	310,194	138,509	44.3
30年2月期	292,238	130,482	44.3

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 137,553百万円 30年2月期 129,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	16.00	—	21.00	37.00
31年2月期	—	21.00	—	—	—
31年2月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	780,000	12.2	31,800	10.3	34,100	10.3	19,000	10.7	182.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期2Q	104,817,358株	30年2月期	104,817,358株
② 期末自己株式数	31年2月期2Q	622,534株	30年2月期	759,758株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期2Q	104,122,854株	30年2月期2Q	104,094,849株

- (注) 期末自己株式数には従業員持株E S O P信託口が保有する当社株式(平成30年2月期 475,300株、平成31年2月期第2四半期 390,600株)、株式付与E S O P信託口が保有する当社株式(平成30年2月期 34,120株、平成31年2月期第2四半期 一株)、役員報酬B I P信託口が保有する当社株式(平成30年2月期 204,000株、平成31年2月期第2四半期 203,016株)が含まれております。また、E S O P信託口及びB I P信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。(平成30年2月期第2四半期 673,974株、平成31年2月期第2四半期 664,909株)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成30年3月1日～平成30年8月31日）におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善が進み、緩やかな回復基調で推移しています。一方、海外の政治・経済の不確実性や将来不安を背景とした節約志向により、個人消費は底堅くも力強さに欠ける状況が続いております。

当社グループが主に事業を行うドラッグストア業界は、意欲的な出店等により業界として順調な拡大が続くものの、同業他社や異業種を含む競争の激化や人手不足を背景とした人件費の増加、平成30年4月からの調剤報酬改定もあり、当社グループを取り巻く環境は、依然厳しい状況が続いております。加えて、今夏の記録的な猛暑や豪雨などの天候要因も、小売業界には少なからず厳しい状況でありました。

このような状況下におきまして、当社グループは、既存店の改装などウエルシアモデルの積極的な推進、お客様への安心の提供と利便性向上を目的とした24時間営業店舗の拡大（8月末現在165店舗）、調剤併設店舗の増加（8月末現在1,210店舗）による調剤売上の伸長等により、既存店の売上高は好調に推移いたしました。また、健康をキーワードにした商品開発や利便性強化を目的とした弁当・総菜の販売、収納代行サービスの拡大、ネットショッピングなどにご利用いただけるプライベートカードの販売、宅配便ロッカーの設置を積極的に行いました。

平成30年3月1日付で東京都内を中心に出店している株式会社一本堂の株式を取得し、ウエルシアモデルの導入を進めました。

出店と閉店につきましては、東北・関西を重点出店エリアとし、グループ全体54店舗の出店と15店舗を閉店し、株式会社一本堂の41店舗を加え、当第2四半期連結累計期間末の当社グループの店舗数は1,773店舗となりました。

(単位：店)

	前期末店舗数 (平成30年2月28日)	子会社化 による新規 増加店舗数	出店数	閉店数	第2四半期末店舗数 (平成30年8月31日)
ウエルシア薬局（注）1	1,559	—	44	12	1,591
シミズ薬品	54	—	3	1	56
丸大サクラヤ薬局	74	—	6	1	79
一本堂（注）3	—	41	—	—	41
国内計	1,687	41	53	14	1,767
毎日鈴商業（上海）（注）2	4	—	—	1	3
Welcia-BHG(Singapore)	2	—	1	—	3
合計	1,693	41	54	15	1,773

(注)1 B. B. ONの店舗は、ウエルシア薬局の店舗と併設されているため、ウエルシア薬局の1店舗として計算しております。

2 毎日鈴商業（上海）の第2四半期は、平成30年1月1日から平成30年6月30日であるため、上表の「第2四半期末店舗数」欄は、平成30年6月30日現在の店舗数を表示しております。

3 平成30年3月1日付で当社が一本堂を株式取得により完全子会社化し、連結子会社としております。

4 上表の「第2四半期末店舗数」のうち調剤取扱店舗は、ウエルシア薬局1,166店舗、シミズ薬品24店舗、丸大サクラヤ薬局15店舗、一本堂2店舗及びWelcia-BHG(Singapore)3店舗の合計1,210店舗、また、深夜営業店舗は、ウエルシア薬局1,235店舗、シミズ薬品50店舗及び丸大サクラヤ薬局31店舗の合計1,316店舗となっております。

また、品目別売上高は、下記の通りとなっております。

区 分	金額（百万円）	前年同四半期比（%）
医薬品・衛生介護品・ベビー用品・健康食品	81,998	110.1
調剤	62,878	113.7
化粧品	69,332	112.3
家庭用雑貨	56,899	112.9
食品	86,682	117.6
その他	29,595	118.2
合 計	387,386	113.7

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は387,386百万円（前年同四半期比13.7%増）、営業利益15,029百万円（同3.9%増）、経常利益16,136百万円（同4.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益9,897百万円（同2.3%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して17,955百万円増加し、310,194百万円となりました。これは主に、売掛金が2,255百万円、建物及び構築物（純額）が4,787百万円及びのれんが4,135百万円増加したことによるものです。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して9,928百万円増加し、171,684百万円となりました。これは主に、買掛金が7,758百万円及びリース債務（固定）が1,291百万円増加したことによるものです。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して8,027百万円増加し、138,509百万円となりました。これは主に、剰余金の配当により利益剰余金が2,200百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益9,897百万円を計上したことによるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は15,697百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,112百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は21,816百万円（前年同四半期21,918百万円の収入）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益15,998百万円に対して、収入の主な内訳は非資金費用である減価償却費6,215百万円、仕入債務の増加額7,324百万円であり、支出の主な内訳は法人税等の支払額7,261百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は12,725百万円（前年同四半期10,852百万円の支出）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出7,717百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出3,962百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は6,977百万円（前年同四半期1,740百万円の収入）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出2,428百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出2,631百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

「平成30年2月期 決算短信」(平成30年4月11日)において公表した連結業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,481	18,335
売掛金	23,514	25,769
商品	76,312	78,326
その他	13,872	12,611
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	130,180	135,042
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	62,756	67,544
土地	12,410	12,882
リース資産(純額)	31,838	33,414
その他(純額)	6,419	6,129
有形固定資産合計	113,423	119,969
無形固定資産		
のれん	11,813	15,948
その他	2,417	2,421
無形固定資産合計	14,230	18,370
投資その他の資産		
差入保証金	26,743	28,940
その他	7,685	7,895
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	34,403	36,811
固定資産合計	162,058	175,151
資産合計	292,238	310,194

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	89,127	96,885
短期借入金	4,436	4,921
リース債務	4,696	4,991
未払金	7,252	5,351
未払法人税等	6,727	5,703
賞与引当金	601	1,744
ポイント引当金	4	14
その他	8,031	9,755
流動負債合計	120,878	129,367
固定負債		
長期借入金	11,355	10,224
リース債務	16,894	18,185
資産除去債務	7,005	7,425
退職給付に係る負債	2,630	3,050
役員株式給付引当金	178	269
その他	2,811	3,160
固定負債合計	40,877	42,316
負債合計	161,756	171,684
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,736	7,736
資本剰余金	51,667	51,683
利益剰余金	72,310	80,007
自己株式	△2,333	△1,968
株主資本合計	129,381	137,459
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	282	316
為替換算調整勘定	△4	△9
退職給付に係る調整累計額	△198	△212
その他の包括利益累計額合計	78	94
新株予約権	272	236
非支配株主持分	750	719
純資産合計	130,482	138,509
負債純資産合計	292,238	310,194

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	340,665	387,386
売上原価	238,860	271,431
売上総利益	101,804	115,955
販売費及び一般管理費	87,342	100,925
営業利益	14,462	15,029
営業外収益		
受取利息及び配当金	7	16
不動産賃貸料	340	391
協賛金収入	152	248
その他	700	710
営業外収益合計	1,201	1,366
営業外費用		
支払利息	112	154
不動産賃貸原価	81	76
その他	37	28
営業外費用合計	230	259
経常利益	15,432	16,136
特別利益		
固定資産売却益	1	23
投資有価証券売却益	—	41
受取損害賠償金	9	—
その他	1	—
特別利益合計	13	64
特別損失		
固定資産売却損	28	—
固定資産除却損	13	152
減損損失	14	19
その他	9	29
特別損失合計	64	202
税金等調整前四半期純利益	15,381	15,998
法人税、住民税及び事業税	5,448	5,723
法人税等調整額	269	412
法人税等合計	5,718	6,135
四半期純利益	9,663	9,862
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15	△34
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,678	9,897

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益	9,663	9,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	24
為替換算調整勘定	35	△3
退職給付に係る調整額	14	△13
その他の包括利益合計	83	6
四半期包括利益	9,746	9,869
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,742	9,902
非支配株主に係る四半期包括利益	4	△32

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,381	15,998
減価償却費	5,665	6,215
減損損失	14	19
のれん償却額	524	962
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	23	1,134
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	223	272
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	79	91
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△90	△32
受取利息及び受取配当金	△7	△16
支払利息	112	154
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△41
建設協力金と相殺した賃借料	475	474
固定資産売却益	△1	△23
固定資産売却損	28	—
固定資産除却損	10	152
固定資産受贈益	△108	△148
売上債権の増減額(△は増加)	△2,877	△2,201
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,437	△1,277
仕入債務の増減額(△は減少)	7,989	7,324
未払消費税等の増減額(△は減少)	428	470
その他	885	△1,098
小計	27,319	28,433
利息及び配当金の受取額	6	22
利息の支払額	△111	△153
法人税等の支払額	△6,038	△7,261
法人税等の還付額	742	775
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,918	21,816
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,287	△468
定期預金の払戻による収入	—	1,211
有形固定資産の取得による支出	△6,774	△7,717
有形固定資産の売却による収入	59	146
無形固定資産の取得による支出	△284	△352
関係会社預け金の預入による支出	—	△2,000
関係会社預け金の払戻による収入	—	3,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△3,962
敷金の差入による支出	△2,778	△2,790
敷金の回収による収入	500	254
その他	△288	△45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,852	△12,725

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100	100
長期借入れによる収入	7,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,492	△2,428
社債の償還による支出	—	△165
配当金の支払額	△1,675	△2,200
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,207	△2,631
自己株式の取得による支出	△830	△2
非支配株主からの払込みによる収入	777	—
その他	269	350
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,740	△6,977
現金及び現金同等物に係る換算差額	23	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	12,831	2,112
現金及び現金同等物の期首残高	15,613	13,585
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,444	15,697

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。